

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス

コード番号 6961 URL <http://www.enplas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 笹倉 邦保

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 048-253-3131

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,022	△36.6	△324	—	△327	—	△440	—
21年3月期第2四半期	12,643	—	△294	—	△106	—	△1,094	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△28.57	—
21年3月期第2四半期	△64.47	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	30,782	—	27,440	—	88.5	1,778.23
21年3月期	32,500	—	28,521	—	87.2	1,832.50

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 27,246百万円 21年3月期 28,335百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△18.3	200	—	400	—	100	—	6.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,906,097株 21年3月期 20,906,097株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 5,583,697株 21年3月期 5,443,335株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 15,422,601株 21年3月期第2四半期 16,981,214株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想数字と異なる結果になる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(3か月)における世界経済情勢は、昨年秋からのサブプライム問題に端を発した景気減速の影響が残り、一部の省エネ家電の普及や中国の内需拡大もあり、景気の緩やかな回復も見受けられますが、实体经济の先行きは未だ不透明な状況であります。

当社グループが関連する電子部品業界におきましては、市場が緩やかに回復し、在庫調整が緩和された市場と引続き在庫調整や設備投資を抑制する厳しい環境の市場が混在した不透明な経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは基幹事業であるエンブラ事業のグローバル展開の拡大と半導体機器事業の再構築、LED関連事業の再構築と新製品の拡大、そしてオプト事業の海外生産移管等による製造原価低減等による早期収益力回復を目指して推進してまいりました。

この結果、当第2四半期(3か月)の売上高は4,513百万円(前年同期比25.1%減)となりました。収益面におきましては、生産効率の向上による売上原価率の低減が図られ、また固定費の大幅な減少も寄与して営業利益は113百万円(前期は178百万円の営業損失)、経常利益は99百万円(前期は99百万円の経常損失)と黒字化しました。また、過年度消費税還付金20百万円、海外子会社が保有していたゴルフ会員権の売却益30百万円等の特別利益と資産金型の減損損失11百万円、金型機械装置の固定資産除却損12百万円等の特別損失の計上により、四半期純利益は57百万円(前期は892百万円の四半期純損失)となりました。

各事業の概況は次のとおりであります。

#### 「エンブラ事業」

グローバル営業体制強化による既存顧客への拡販、新規ビジネス獲得を積極的に推進してまいりました。主力製品のOA機器の市場在庫が減少し一部売上を伸ばしたものの、自動車関連製品の世界的な生産・在庫調整による受注減少等により、当第2四半期の連結売上高は2,640百万円(前年同期比24.6%減)となりました。

#### 「半導体機器事業」

戦略開発製品の積極的な上市とグローバル営業体制強化によるシェア拡大を推進してまいりましたが、景気後退による半導体市場の更なる減速とグローバル競争の激化による販売価格の下落が更に顕著化し、当第2四半期の連結売上高は750百万円(前年同期比44.5%減)となりました。

#### 「LED関連事業」

固有技術である光束技術を駆使した高効率、高品位の導光板製品の開発と上市、及び拡散レンズによる市場開拓を積極的に推進してまいりました。既存製品では価格競争激化による受注の大幅減少になったものの、新製品で売り上げを伸ばし、当第2四半期の連結売上高は340百万円(前年同期比46.6%増)となりました。

#### 「オプト事業」

主力工場をENPLAS (VIETNAM) CO., LTD. に移管し、生産体制の強化と営業体制拡充による戦略顧客への積極的な販売活動を行いました。一部顧客の需要回復が見受けられるものの市場の成長を促すには至らず、当第2四半期の連結売上高は781百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

なお、平成22年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信(平成21年7月29日開示)をご参照ください。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,718百万円の減少となり、30,782百万円となりました。流動資産は1,586百万円、有形固定資産は360百万円減少し、無形固定資産は主にソフトウェアへの投資により303百万円増加しました。

負債においては、前連結会計年度末に比べ637百万円の減少となり、3,341百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、1,080百万円の減少となり、27,440百万円となりました。主な増減としては、利益剰余金534百万円の減少、自己株式240百万円の増加がありました。自己株式は140,362株取得したことによるものです。また、当第2四半期連結会計期間におけるストックオプションの発行に伴い、新株予約権が24百万円計上されております。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月28日に公表しました連結業績予想を次のとおり修正いたします。

売上高	17,000百万円	(前年同期比18.3%減)
営業利益	200百万円	(前年同期比 — )
経常利益	400百万円	(前年同期比 — )
当期純利益	100百万円	(前年同期比 — )

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ③ 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

##### ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

##### ⑤ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引を相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,079,626	14,069,708
受取手形及び売掛金	4,717,925	4,170,240
有価証券	700,000	700,000
製品	432,947	603,505
仕掛品	208,182	196,297
原材料及び貯蔵品	374,766	399,150
その他	1,084,413	1,036,183
貸倒引当金	△17,823	△8,965
流動資産合計	19,580,038	21,166,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,935,488	4,073,663
土地	3,165,073	3,177,735
その他（純額）	2,064,576	2,274,080
有形固定資産	9,165,139	9,525,479
無形固定資産		
のれん	1,777	3,925
その他	677,248	371,585
無形固定資産合計	679,025	375,510
投資その他の資産	1,358,234	1,433,359
固定資産合計	11,202,399	11,334,350
資産合計	30,782,437	32,500,470

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	962,456	572,131
未払法人税等	132,837	108,711
賞与引当金	301,644	392,303
工場閉鎖損失引当金	757,000	757,000
その他	865,526	1,759,099
流動負債合計	3,019,464	3,589,246
固定負債		
退職給付引当金	63,219	54,361
役員退職慰労引当金	26,496	26,075
その他	232,569	309,377
固定負債合計	322,285	389,815
負債合計	3,341,749	3,979,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,975,889	10,975,889
利益剰余金	17,525,650	18,060,436
自己株式	△7,918,905	△7,678,364
株主資本合計	28,663,088	29,438,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126,158	104,000
為替換算調整勘定	△1,542,549	△1,206,981
評価・換算差額等合計	△1,416,390	△1,102,980
新株予約権	24,139	—
少数株主持分	169,850	185,973
純資産合計	27,440,687	28,521,408
負債純資産合計	30,782,437	32,500,470

（2）四半期連結損益計算書  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）
売上高	12,643,656	8,022,371
売上原価	9,219,145	5,611,964
売上総利益	3,424,510	2,410,406
販売費及び一般管理費	3,719,053	2,734,865
営業損失（△）	△294,543	△324,459
営業外収益		
受取利息	75,519	40,005
為替差益	76,077	—
その他	51,174	45,602
営業外収益合計	202,771	85,607
営業外費用		
為替差損	—	83,376
固定資産賃貸費用	7,296	—
支払手数料	3,757	209
その他	4,104	5,017
営業外費用合計	15,158	88,603
経常損失（△）	△106,930	△327,455
特別利益		
前期損益修正益	8,465	16,388
会員権売却益	—	30,301
役員賞与引当金戻入額	8,500	1,650
還付消費税等	—	20,517
その他	17,109	20,572
特別利益合計	34,075	89,430
特別損失		
有形固定資産除却損	—	27,116
投資有価証券評価損	303,580	—
事業再構築費用	—	33,004
その他	319,346	29,031
特別損失合計	622,927	89,152
税金等調整前四半期純損失（△）	△695,782	△327,177
法人税、住民税及び事業税	218,622	103,656
法人税等調整額	181,081	8,050
法人税等合計	399,703	111,707
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△633	1,744
四半期純損失（△）	△1,094,851	△440,630

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,021,679	4,513,078
売上原価	4,376,635	3,028,266
売上総利益	1,645,043	1,484,811
販売費及び一般管理費	1,823,948	1,371,702
営業利益又は営業損失(△)	△178,905	113,109
営業外収益		
受取利息	37,592	18,486
為替差益	30,253	—
その他	19,321	19,205
営業外収益合計	87,167	37,691
営業外費用		
為替差損	—	48,016
固定資産賃貸費用	3,846	—
その他	3,921	3,764
営業外費用合計	7,767	51,781
経常利益又は経常損失(△)	△99,505	99,020
特別利益		
固定資産売却益	3,687	4,283
貸倒引当金戻入額	4,450	369
会員権売却益	—	30,301
還付消費税等	—	20,517
その他	2,001	2,891
特別利益合計	10,139	58,363
特別損失		
有形固定資産除却損	—	12,888
減損損失	—	11,908
投資有価証券評価損	303,580	—
その他	198,573	15,947
特別損失合計	502,154	40,744
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△591,520	116,639
法人税、住民税及び事業税	62,573	82,169
法人税等調整額	238,768	△27,575
法人税等合計	301,341	54,593
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△317	4,316
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△892,544	57,729



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△695,782	△327,177
減価償却費	1,367,032	694,886
投資有価証券評価損益 (△は益)	303,580	—
役員賞与引当金戻入額	△8,500	△1,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,038	△89,521
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△326,082	420
売上債権の増減額 (△は増加)	553,437	△632,154
たな卸資産の増減額 (△は増加)	95,040	133,234
仕入債務の増減額 (△は減少)	△154,699	276,811
その他	△36,449	△383,408
小計	1,076,538	△328,559
特別退職金の支払額	—	△751,874
利息及び配当金の受取額	83,841	43,384
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△205,772	71,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	954,607	△965,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	832,505	189,060
有形固定資産の取得による支出	△885,901	△417,175
無形固定資産の取得による支出	—	△289,729
その他	△150,674	75,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,071	△442,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△649,317	△240,541
その他	△98,996	△80,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△748,314	△321,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,804	△193,317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,026	△1,922,202
現金及び現金同等物の期首残高	16,073,835	13,883,700
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,096,862	11,957,363

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループは主としてエンジニアリングプラスチック及びその複合材料による各種製品の製造及び販売を主業としている専門メーカーであり、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントはありません。このため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,418,214	1,055,693	1,547,770	6,021,679	—	6,021,679
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	884,873	1,027	34,550	920,451	(920,451)	—
計	4,303,087	1,056,721	1,582,321	6,942,130	(920,451)	6,021,679
営業利益又は営業損失 (△)	△189,994	29,412	55,176	△105,406	(73,498)	△178,905

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,590,651	740,430	1,181,996	4,513,078	—	4,513,078
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	704,589	135	156,208	860,932	(860,932)	—
計	3,295,240	740,565	1,338,204	5,374,010	(860,932)	4,513,078
営業利益又は営業損失 (△)	34,481	△9,364	130,140	155,257	(42,148)	113,109

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,373,411	2,111,042	3,159,202	12,643,656	—	12,643,656
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,763,636	1,182	48,114	1,812,934	(1,812,934)	—
計	9,137,048	2,112,225	3,207,316	14,456,590	(1,812,934)	12,643,656
営業利益又は営業損失 (△)	△297,898	75,927	65,389	△156,582	(137,961)	△294,543

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,582,234	1,352,518	2,087,617	8,022,371	—	8,022,371
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,296,067	977	280,093	1,577,138	(1,577,138)	—
計	5,878,301	1,353,496	2,367,711	9,599,509	(1,577,138)	8,022,371
営業利益又は営業損失 (△)	△273,294	△27,853	121,648	△179,498	(144,960)	△324,459

- (注) 1. 国または地域は地理的近接度により区分しております。  
 2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。  
 (1) 北 米：米国  
 (2) アジア：シンガポール、マレーシア、タイ、韓国、中国、台湾、ベトナム  
 3. 国内セグメント間の内部売上高は、主として親会社による在外連結子会社に対する成形製品の売上高であります。また、在外における内部売上高は、主として在外連結子会社による親会社に対する成形製品の売上高であります。  
 4. 会計処理の方法の変更  
 (前第2四半期連結累計期間に係る注記)  
 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比べ、「日本」の営業損失が21,462千円増加しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	932,975	1,675,461	209,598	2,818,035
II 連結売上高（千円）	—	—	—	6,021,679
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.5	27.8	3.5	46.8

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	564,228	1,398,167	146,483	2,108,879
II 連結売上高（千円）	—	—	—	4,513,078
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.5	31.0	3.2	46.7

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	1,832,471	3,348,697	531,321	5,712,490
II 連結売上高（千円）	—	—	—	12,643,656
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.5	26.5	4.2	45.2

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	1,068,121	2,380,572	297,831	3,746,525
II 連結売上高（千円）	—	—	—	8,022,371
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.3	29.7	3.7	46.7

（注） 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北 米：米国、カナダ等

(2) アジア：シンガポール、マレーシア、タイ、韓国、中国、台湾等

(3) 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。